

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こはくのひろば		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 11月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 11月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童に対して様々な経験をしてもらえるよう、多様なプログラムを提供できている。イベントも定期的ではないものの、多くできている。	外出の機会をなるべくつくっている。職員・保護者以外のいろいろな人とも関わるようにしている。	今後も様々なイベントを行っていききたい。保護者さん同士が交流できる、普段体験できないこと、きょうだい児が楽しめる、などを目的に考えています。
2	職員がそれぞれ、自分の強みを活かして子どもと接しており関わっている。	看護師、保育士、教員、作業療法士など、いろいろな専門家が在籍しており、それぞれできることを行っている。それがイベントにつながっていることもあった。苦手なところは他の人がカバーしあうことができている。	職員の得意分野が似ているところもあるので、苦手分野もどんどん勉強して、いろんな児童に対応できるよう努めていきたい。
3	複数の部屋があり、様々なニーズに応えられる対応をしている。地域の重症心身障害児・医療的ケア児を預かることができる事業所として存在できている。	個室対応したり、暗い部屋をつくったり…いろいろしている。地域の別の重症心身障害児向けの事業所が閉所したため、その分の受け入れも行った。	引き続き看護師や、児童指導員の増員を行っていききたい。児童が卒業したあとの居場所づくりもおこなっていききたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な取り組みを行っているが、保護者に伝わりにくい。特に避難訓練や、支援プログラム・マニュアル等ホームページに載せてあるもの。	面談の機会が少ない。ホームページに載せているだけでは伝わりにくい。	面談の機会を増やしていく。保護者との交流を増やしていく。
2	マニュアルなどが職員にも、保護者にも周知されていない部分がある。	マニュアルの場所をみえやすいところに行っているが、まだ周知には至っていない。マニュアルに接する機会がない。	職員は研修等で周知。保護者にも伝えるように工夫したい。（年1回はマニュアルのお知らせを送るなど）
3	ペアレントトレーニングや保護者向けの研修会などが行われていない。	保護者会という組織もなく、保護者全体としてのニーズが把握しづらいところもある。ペアレントトレーニングできるスキルが職員にない。	外部研修などの情報も保護者さんへ伝えていきたい。イベントで研修も考えていきたい。